

青海工場配管破裂事故について 詳細は、▶P51 をご参照ください

2023年6月14日に当社青海工場で発生した事故につき、亡くなられた協力会社1名の方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対しお悔やみ申し上げます。また、負傷された2名の方々にお見舞い申し上げます。近隣住民の皆さまをはじめ、多くのお取引さま、関係者の皆さまにご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

重大事故ゼロに向けた取り組み

事故発生後、社外の有識者および専門家を中心に構成される「事故調査委員会」を設置しました。徹底した事故原因の究明および再発防止策の策定を行った上で、会社全体として重大事故を起こさないための安全管理強化策5項目を提言しました。これに基づき、当社は、全社的な安全管理の組織体制を強化し、提言に沿った対応を進めることにより、化学物質を安全に取り扱い、安定供給するという化学メーカーとしての使命を果たしてまいります。

1. リスクアセスメントの質的向上

配管の付着物(スケール)など十分な危険性情報が得られない物質についての危険性評価方法を確立するとともに、既存物質の危険性の総点検、各種情報の有効活用により、漏れのない評価と対策を進めています。

2. 工事安全管理

工事においては、協力会社の方と危険性の情報を共有する仕組みを導入することにより、安全管理体制を強化しています。

3. 安全保安教育

プロセスセーフティ、化学物質に関する教育を充実させることにより、安全・保安に関する人材を育成しています。

4. 協力会社およびデンカ社内に対する安全監査

事故の再発防止策が協力会社、社内ともに徹底されることを確実にするため、監査体制を構築しました。

5. 「安全の日」制定

本件のような重大な事故を二度と起こさず、事故の記憶を風化させないため、6月14日を「安全の日」として制定しました。本年の第一回「安全の日」式典では、デンカグループ全体で重大事故防止に取り組むことを誓いました。



事故調査委員会における原因究明



「安全の日」式典のグループへの配信

樹脂製品における第三者認証等の不適切行為について 詳細は、▶P53 をご参照ください

当社は、当社および持分法適用関連会社が製造・販売する樹脂製品の一部において、第三者認証規格に関する不適切な行為が判明したことを受け、2023年5月29日に事実を公表するとともに、当社グループと利害関係を有しない社外有識者による「外部調査委員会」を設置いたしました。

同年12月11日に同委員会より、不適切行為に関する徹底的な調査と原因究明、再発防止策の提言を含む調査報告書※を受け、当社が策定した再発防止などの対応策を併せて公表いたしました。

調査報告書では、不適切事案の申告に対する心理的安全性確保のための体制不足など、組織課題をご指摘いただきました。調査報告書の指摘を真摯に受け止め、コンプライアンス最優先の経営姿勢を当社グループ全体に浸透させるべく、抜本的な対応策を全力で進めております。

※「当社および持分法適用関連会社の樹脂製品における第三者認証等の不適切行為に関する 外部調査委員会による調査報告書ならびに当社グループの対応策の公表について」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1185/20231211_denka_report_measures.pdf

対処すべき不適切事案の概要と再発防止策

第三者認証規格に関する不適切な事案については、当社および持分法適用関連会社が主体となりローラー調査を実施いたしました。加えて、調査委員会により、リニエンシー（処罰減免制度）の採用等による実効性を確保した、多角的かつ網羅的なアンケート調査を実施いたしました。これらにより把握した事実をもとに、現場レベルでの動機・機会・正当化の要因分析と組織課題としての原因分析を行いました。また、外部調査委員会と共同で、社内各所より意見を出し合いながら、調査結果より観察事項を抽出し、原因を推定、課題を抽出いたしました。再発防止策策定にあたり、抽出した課題を4つに分類し、それぞれの課題に対して再発防止を中心とした対応策を策定し、具体的な対応に着手し推進中です。

抽出した4つの課題

経営面からのアプローチ

品質機能強化

品質基盤強化

人財戦略と育成